

学校給食だより 秋田っ子給食

NO-20

公益財団法人 秋田県学校給食会

「秋田錦」給食に登場 泉小・八橋小すき焼き「ジューシー」



県産黒毛和牛「秋田錦牛」を使ったすき焼きが、秋田市の泉小学校と八橋小学校で給食に登場した。

市は地産地消を推進する取り組みの一環として、2014年から毎年、県畜産農業協同組合（加藤義康組合長）から牛肉の提供を受けて市内の小学校で給食に出している。

今回は同市上北手の寿牧場から出荷された秋田錦牛のバラ肉が、泉小に468食分21キロ、八橋小に435食分20キロ寄贈された。

このうち、泉小（443人）では児童たちが肉を次々と頬張った。6年の佐藤英斗君は「ジューシーでとても食べ応えがあった。いつも食べている肉と全然違う」と話し、6年の芦原美月樹さんは「もりもり食べられた。秋田の食材はおいしいな、としみじみ思う」と笑顔だった。

12日の給食で提供された。

（盛禎央）



＜給食として出された秋田錦牛のすき焼き＞

（令和3年11月18日（木）秋田魁新聞」より抜粋）